

授業での活用（実践報告例）

【情報コミュニケーション科】

1) 使用機器・・・ソフト名（価格）

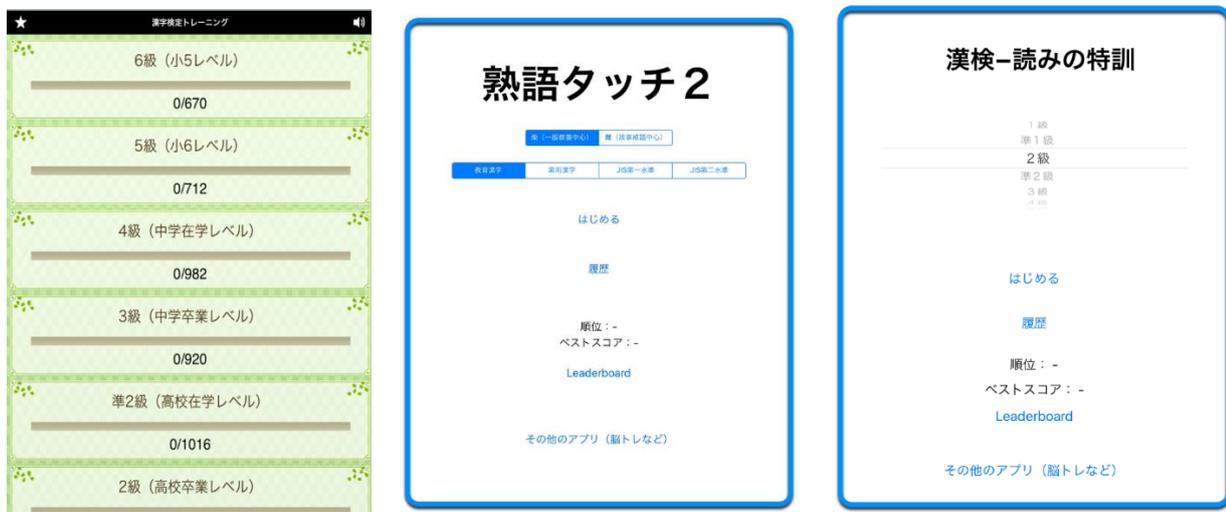
- ・使用機器・・・PC、文字情報ディスプレイ
iPad
- ・使用アプリ・・・漢字検定・漢検漢字トレーニング（無料：5042問 ※有料5747問）
熟語タッチ（無料）
漢検読みの特訓（無料）

2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数/授業時数)
専攻科Ⅱ年	情報コミュニケーション科	卒業研究	0.5/4

3) 使用例および生徒の反応

- ・ 就職を目指す専攻科Ⅱ年生に対し、最低でも漢字検定準2級の資格を取ってほしい旨、情報系授業の中でも説明をしているが、現状ではかなり難しく、生徒の漢字への苦手意識も非常に高い。
- ・ 読みと熟語だけでも力をつけてもらいたいと考え、2時間連続の卒業研究の中で、継続的に行うことにした。
- ・ 特にハードルの高い「書き」を外すことで、ある程度スムーズに進めることができている。



4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・ 情報コミュニケーション科生として、コンピュータの知識、ソフト活用能力の育成は当然必要だが、根底には漢字力・国語力が求められる。テキストを読んでも漢字がわからない、説明内容を理解できないという状況は解消されなければならない。また、就職試験や就職後を見据えると、語彙力も必要になる。平易なソフトに取り組むことで、生徒の漢字・語彙への苦手意識が軽減され、漢字学習に意欲を持って取り組むことが期待できる。